

工事設計基準 -電気・機械設備編- (岡山県企業局) における 週休2日の積算方法について

○労務費

- ・ 労務単価(夜間、時間外等の補正後)【円未満切捨】
= 労務単価×夜間及び時間外等による補正係数
- ・ 労務単価(週休2日の補正後)【円未満切捨】
= 労務単価(夜間、時間外等の補正後)×週休2日補正係数

○機械経費(賃料)

- 機械賃料(週休2日の補正後)【円未満切捨】
= 機械賃料*×週休2日補正係数

※機械賃料は、「岡山県公共工事建設資材等単価決定要領及び同運用」に基づき決定した単価

○共通仮設費率

◇準備費 率計算によるもの(S₁)

- ・ 補正前【千円未満切捨】
準備費(S₁)= 準備費対象額(P)×0.00%+00(定額部)
- ・ 週休2日の補正後【千円未満切捨】
準備費(S₁)=(準備費対象額(P)×0.00%+00(定額部))×週休2日補正係数

◇技術管理費 率計算によるもの(T₁)

- ・ 補正前【千円未満切捨】
技術管理費(T₁)= 技術管理費対象額(P)×技術管理費率
又は技術管理費(T₁)= 限度額
- ・ 週休2日の補正後【千円未満切捨】
技術管理費(T₁)= 技術管理費対象額(P)×技術管理費率×週休2日補正係数
又は技術管理費(T₁)= 限度額×週休2日補正係数

◇労務者輸送費(V)

- ・ 補正前【千円未満切捨】
労務者輸送費(V)= 労務者輸送費対象額(P)×労務者輸送費率
又は労務者輸送費(V)= 限度額
- ・ 週休2日の補正後【千円未満切捨】
労務者輸送費(V)= 労務者輸送費対象額(P)×労務者輸送費率×週休2日補正係数
又は労務者輸送費(V)= 限度額×週休2日補正係数

◇営繕損料(Y)

- ・ 補正前【千円未満切捨】
営繕損料(Y)= 営繕損料対象額(P)×営繕損料率
又は営繕損料(Y)= 限度額
- ・ 週休2日の補正後【千円未満切捨】
営繕損料(Y)= 営繕損料対象額(P)×営繕損料率×週休2日補正係数
又は営繕損料(Y)= 限度額×週休2日補正係数

◇安全費 率計算によるもの(W₁)

- ・補正前【千円未満切捨】

$$\text{安全費}(W_1) = \text{安全費対象額}(P) \times \text{安全費率}$$

$$\text{又は安全費}(W_1) = \text{限度額}$$

- ・週休2日の補正後【千円未満切捨】

$$\text{安全費}(W_1) = \text{安全費対象額}(P) \times \text{安全費率} \times \text{週休2日補正係数}$$

$$\text{又は安全費}(W_1) = \text{限度額} \times \text{週休2日補正係数}$$

○現場管理費率

- ・補正前【千円未満切捨】

$$\text{現場管理費} = \text{現場管理費対象額}(P) \times \text{現場管理費率}$$

$$\text{又は現場管理費} = \text{限度額}$$

- ・週休2日の補正後【千円未満切捨】

$$\text{現場管理費} = \text{現場管理費対象額}(P) \times \text{現場管理費率} \times \text{週休2日補正係数}$$

$$\text{又は現場管理費} = \text{限度額} \times \text{週休2日補正係数}$$

○市場単価・標準単価

- ・市場単価・標準単価(週休2日の補正後)【円未満切捨】

$$= \text{市場単価} \cdot \text{標準単価}(\text{基準額}) \times \text{週休2日補正係数}$$

- ・市場単価・標準単価(施工規模等の補正後)【円未満切捨】

$$= \text{市場単価} \cdot \text{標準単価}(\text{週休2日の補正後}) \times \text{施工規模等の補正係数}$$

※市場単価・標準単価は、週休2日の補正【円未満切捨】→施工規模等の補正【円未満切捨】の順に補正する。

○週休2日補正係数は土木部技術管理課ページ掲載の「週休2日工事の補正係数について（「土木工事標準積算基準」「機械設備積算基準）」の場合と同様